

令和6年度長岡京市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、水田の全耕地面積に占める主食用米面積の割合が約58%です。特産品として、なす、花菜、ミディトマト「ガラシャの瞳」などの栽培を奨励しています。また、環境負荷低減に取り組む農業者を支援し、特別栽培農産物の推進を図っています。

しかしながら、農家一戸当たりの水田面積は約24aと小さく、都市化による農地の減少も進んでいる中、それ以上に農家の高齢化や後継者不足による担い手の減少が進み、担い手への農地集積が課題となっています。

その他、麦、大豆等の土地利用型農業については、圃場整備もされておらず圃場区画も小さいことから、生産面、品質面ともに困難な課題が多くあります。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

本市の水田は、一戸当たりの水田面積が少なく、市街化区域の水田面積が約40%を占めていることもあり、生産規模の拡大を図ることは非常に難しい圃場条件となっています。そのような地域の実情に応じて、地域輪作農法の取り入れや、花菜では早生、中生、晩生の品種の育成及び活用などに取組み、地域振興作物としては、花菜の他、なす、ミディトマト「ガラシャの瞳」などの栽培を推進しています。

また、ソルゴー障壁を用いた環境にやさしい農法による栽培や、京都こだわり栽培指針に基づいた栽培による京のブランド製品の指定など、付加価値の向上への取組みを行っています。

今後も、地域の実情に応じた取組みや付加価値の向上への取組みを継続していきます。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

本市では、高齢化や後継者不足による担い手の不足や、農地の集積・集約化が進んでいない状況となっていますが、地域輪作農法を用いたなすや水稻の裏作として栽培される花菜が地域振興作物となっていることから、それらを生産していくための水田面積を維持し、水田の有効活用を行います。

また、農業委員や農家組合、行政職員による農地を巡回し、水田において耕作放棄を発生させないよう、継続して取組みます。

地域輪作農法への取組みや裏作の作付により、水田の活用が行われているため、需要に応じた作物の栽培に対する支援を行いながら、生産者の畑地化への意向に基づき、畑地化支援も進めていきます。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

本市は一戸当たりの水田面積が約24aと少なく、生産緑地を含む市街化区域の水田面積が約40%を占め、改廃が進む状況からすると、生産規模の拡大を図ることは非常に難しく、農地の集積も困難です。また、水田面積が少ないため生産コストが高く、作業受委託が進んでいますが、稲作から得られる所得は低水準となっています。

一方で本市の人口は約8万人ですが、市外からも通勤や通学、観光等で多くの人が訪れており、米の潜在需要は大きいと見込まれます。

そのような中で、消費者への直接販売や、インショップ、直売所、企業の食堂などに対応した生産と安定取引の推進を図ります。

また、全国的に主食用米を取り巻く環境は日々変化しており、京都府南部地域に適した品種の情報収集に努めていきます。

(2) 高収益作物

水田転作作物として様々な作物の作付けが行われており、特に、なす、花菜、ミディトマト「ガラシャの瞳」を地域振興作物として、良質な特産品の生産振興を図ります。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

7 産地交付金の活用方法の概要

別紙のとおり

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	60.8		60.8		60.0	
備蓄米						
飼料用米						
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米						
麦						
大豆						
飼料作物						
・子実用とうもろこし						
そば						
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	20.8	12.2	21.1	12.3	21.6	12.5
・野菜	20.3	12.2	20.6	12.3	21.1	12.5
・花き・花木						
・果樹	0.03		0.03		0.03	
・その他の高収益作物	0.5		0.5		0.5	
その他						
・						
畑地化						

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）		目標値	
1	なす、花菜（基幹作）	認定農業者栽培助成	交付対象面積の拡大	3.6ha（令和5年度）		3.8ha（令和8年度）	
			認定農業者数の増加	24名（令和5年度）		24名（令和8年度）	
2	花菜（二毛作）	認定農業者栽培助成	交付対象面積の拡大	10.7ha（令和5年度）		10.9ha（令和8年度）	
			認定農業者数の増加	24名（令和5年度）		24名（令和8年度）	
3	なす、花菜（基幹作）	出荷助成	交付対象面積の拡大	0.3ha（令和5年度）		0.4ha（令和8年度）	
4	花菜（二毛作）	出荷助成	交付対象面積の拡大	1.5ha（令和5年度）		1.6ha（令和8年度）	
5	ガラシヤの種	認定農業者栽培助成	交付対象面積の拡大	0.3ha（令和5年度）		0.4ha（令和8年度）	
6	助成作物一覧のとおり	対象作物作付助成	交付対象面積の拡大	4.4ha（令和5年度）		4.6ha（令和8年度）	

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

■ 助成作物一覧

1：野菜

1	きゅうり
1	トマト
1	なす
1	ピーマン
1	ししとう
1	とうがらし
1	パプリカ
1	かぼちゃ
1	ズッキーニ
1	いちご
1	すいか
1	メロン
1	まくわうり
1	しろうり
1	とうがん
1	キャベツ
1	はくさい
1	ほうれんそう
1	ねぎ
1	たまねぎ
1	ニラ
1	レタス
1	サニーレタス
1	チシャ
1	だいこん
1	にんじん
1	さといも
1	れんこん
1	しょうが
1	かぶ
1	日野菜
1	すぐき
1	ごぼう
1	やまのいも
1	えだまめ
1	青さやいんげん
1	寒えんどう
1	未成熟そらめ
1	ささが
1	はれいしよ(食用)
1	かんしよ(食用)
1	セルリー
1	クワイモ

2：果樹

2	もも
2	うめ
2	びわ
2	かき
2	くり
2	いちじく
2	ゆず
2	なし
2	ブルーベリー
2	キウイフルーツ
2	ぶどう
2	うんしゅうみかん
2	レイン
2	かんきつ
2	りんご
2	おうとう
2	レモン
2	山椒

3：花き(花き市場取扱品目)

3	切花用母樹
3	トルコギキョウ
3	ストック
3	アスター
3	しゃくやく(花)
3	キク
3	小ギク
3	バラ
3	しょうぶ
3	カラー
3	ハス
3	水生植物
3	グラジオラス
3	ナデシコ
3	カキツバタ
3	ホオズキ
3	蕺たん
3	ポインセチア
3	菜の花
3	カンパニユラ
3	ユリ
3	ヒマワリ
3	センニチコウ
3	コスモス
3	ダリア
3	アーティチョーク
3	京ハボタン
3	カーネーション
3	キキョウ
3	フリージア
3	ウメモドキ
3	ケイトウ
3	さかき
3	さくら
3	サンザシ
3	サンシュウ
3	シキミ
3	シャクヤク
3	チュウリップ
3	ナンテン
3	ボケ
3	ヤナギ
3	ユキヤナギ
3	金魚草
3	簪
3	水仙
3	コチオウラン
3	リンドウ
3	つつじ
3	さつき
3	つばき
3	もみじ
3	ロウ梅
3	パンジー
3	クワ
3	コケ

4：その他作物

4	種苗
---	----

5：豆類

5	小豆
---	----

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：京都府

協議会名：長岡京市地域農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	認定農業者栽培助成	1	39,000	なす・花菜	共通：認定農業者、作付面積に応じて支援 なす：ソルゴー障壁栽培 花菜：ブランド出荷・販売
2	認定農業者栽培助成（二毛作）	2	39,000	花菜	認定農業者、作付面積に応じて支援、 ブランド出荷・販売
3	出荷助成	1	34,000	なす・花菜	共通：作付面積に応じて支援 なす：ソルゴー障壁栽培 花菜：ブランド出荷・販売
4	出荷助成（二毛作）	2	34,000	花菜	作付面積に応じて支援、 花菜：ブランド出荷・販売
5	認定農業者栽培助成	1	33,000	ガラシヤの腫	認定農業者、作付面積に応じて支援
6	対象作物作付助成	1	8,000	別紙のとおり	作付面積に応じて支援

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができます。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。